

2009年3月期 連結決算説明

株式会社マルハニチロホールディングス

常務取締役 安西 眞郎

2009年5月18日

説明概要

1	グループ企業の状況
2	2009年3月期連結決算概況
3	水産セグメント概況
4	食品セグメント概況
5	保管物流セグメント概況
6	その他の事業概況
7	設備投資
8	貸借対照表
9	2010年3月期予想

1. グループ企業の状況



	09年3月期			08年3月期			増減		
	国内	海外	合計	国内	海外	合計	国内	海外	合計
関係会社									
子会社	81	51	132	86	48	134	△5	3	△2
関連会社	18	50	68	20	50	70	△2		△2
関係会社合計	99	101	200	106	98	204	△7	3	△4
連結の範囲									
親会社	1		1	1		1			
連結対象子会社	72	29	101	75	29	104	△3		△3
持分対象子会社		3	3		3	3			
持分対象関連会社	5	14	19	5	14	19			
連結グループ合計	78	46	124	81	46	127	△3		△3

株式会社マルハニチロホールディングス

2. 2009年3月期連結損益計算書



単位：億円

	09年3月期	08年3月期	前期比	旧ニチロ前年 上期	実質前期比
売上高	8,975	8,448	527	1,216	△689
売上原価	7,814	7,495	319		
売上総利益	1,160	953	207		
販売費・一般管理費	1,005	823	182		
営業利益	155	130	25	15	10
営業外収益	35	26	9		
営業外費用	110	83	27		
経常利益	81	73	8	8	0
特別利益	12	21	△9		
特別損失	131	61	70		
税金等調整前当期純利益	△37	33	△70		
法人税等	12	24	△12		
少数株主利益	13	9	4		
当期純利益	△63	1	△64	4	△68

旧ニチロ上期は統合調整後

株式会社マルハニチロホールディングス

2-1. 2009年3月期のユニット別実績

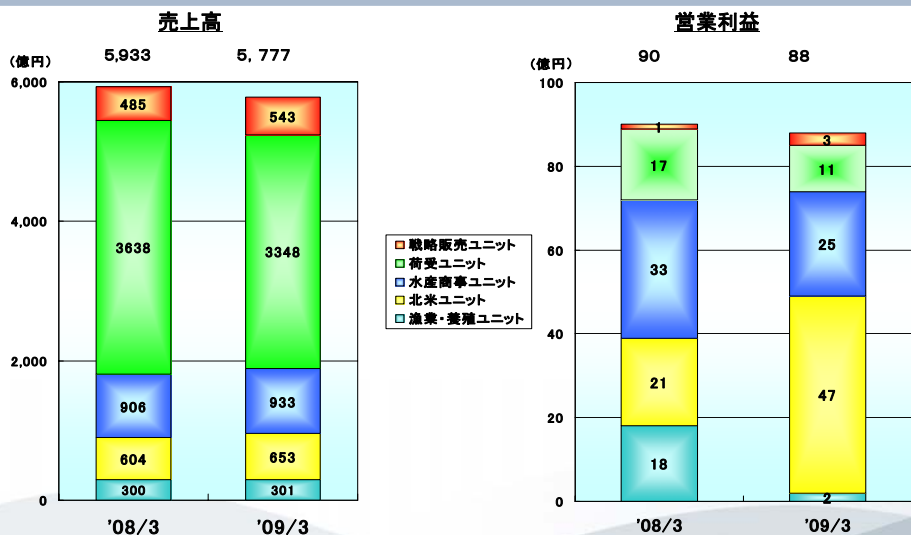


単位：億円

	売上高			営業利益		
	09年3月実績	前期実績	増減	09年3月実績	前期実績	増減
漁業・養殖ユニット	301	300	1	2	18	△16
北米ユニット	653	604	49	47	21	26
水産商事ユニット	933	906	27	25	33	△8
荷受ユニット	3,348	3,638	△290	11	17	△6
戦略販売ユニット	543	485	58	3	1	2
水産セグメント計	5,777	5,933	△156	88	90	△2
冷凍食品ユニット	1,163	720	443	40	14	26
加工食品ユニット	833	710	123	20	20	0
畜産ユニット	477	412	65	5	8	△3
化成品ユニット	125	126	△1	8	9	△1
アジア・オセアニアユニット	315	295	20	16	7	9
食品セグメント計	2,913	2,263	650	89	58	31
保管・物流セグメント計	154	141	13	13	11	2
その他セグメント計	131	112	19	6	8	△2
全社セグメント計			0	△41	△37	△4
合計	8,975	8,448	527	155	130	25

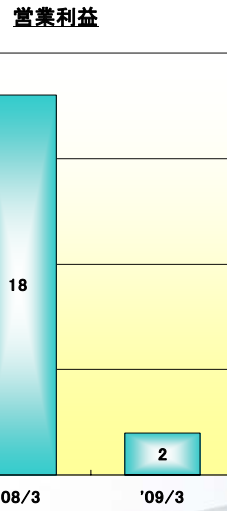
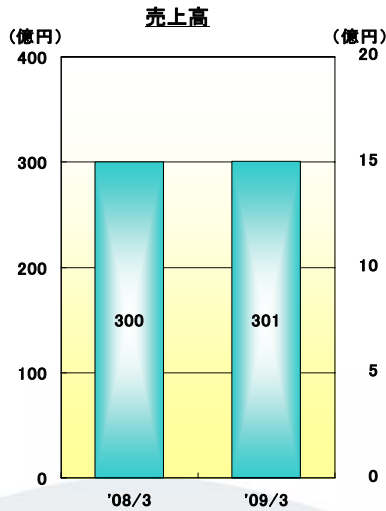
株式会社マルハニチロホールディングス

3. 水産セグメント



株式会社マルハニチロホールディングス

3-1. 漁業・養殖ユニット

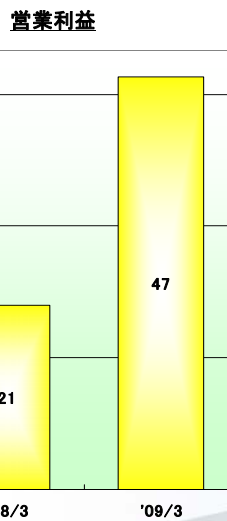
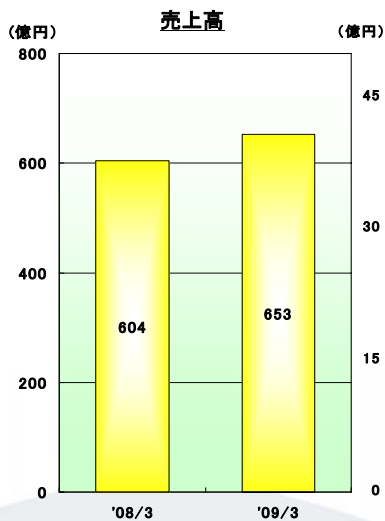


トピックス

1. (まき網): 日本海マグロ好漁とカツオ魚価高値により増益
(はえ縄): 燃油高騰、漁獲不振により減益
2. 養殖クロマグロの出荷は順調に推移
3. 養殖カンパチ市況低迷により収益貢献度低下
4. 海外エビは燃油高騰、欧州市場低迷により赤字継続
⇒ マダガスカル事業は撤退へ
今期、特別損失計上

株式会社マルハニチロホールディングス

3-2. 北米ユニット

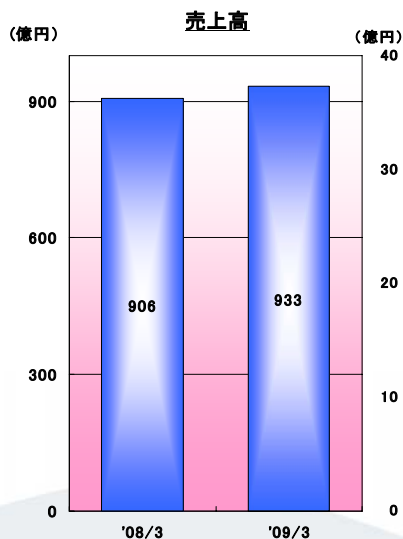


トピックス

1. スケソウダラ漁獲枠(TAC)大幅減少(約3割)するも国内外市況堅調等ですりみ・フライーなど製品単価上昇により収支改善
2. Bシーズン(6月~10月)は早期操業開始により操業ロス軽減
3. 北米現地法人は過去最高益

株式会社マルハニチロホールディングス

3-3. 水産商事ユニット



トピックス

1. タコ - 国内相場暴落により収支悪化
2. 鮭鱒 - 市況回復により収益改善
3. マグロ、イカなど販売低迷により収支悪化

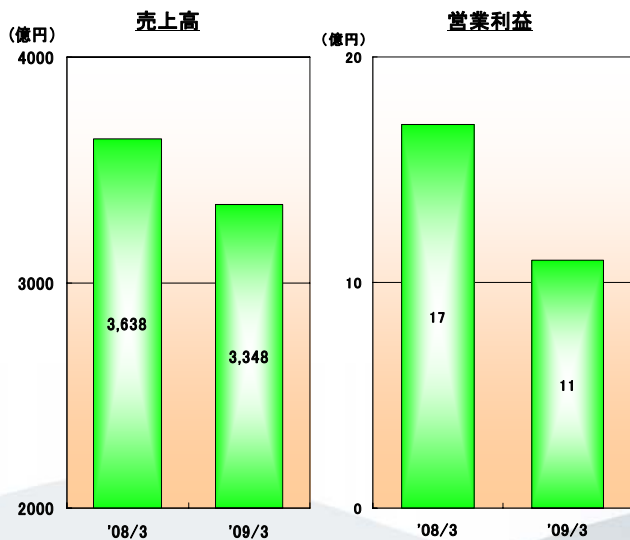
マルハニチロ水産の取扱数量及び魚価(参考)

	09/03	08/03	増減
数量 (千トン)	241	248	△ 7
魚価 (円/Kg)	778	763	+ 15

前期は旧ニチロ上期を含めて表示

株式会社マルハニチロホールディングス

3-4. 荷受ユニット



トピックス

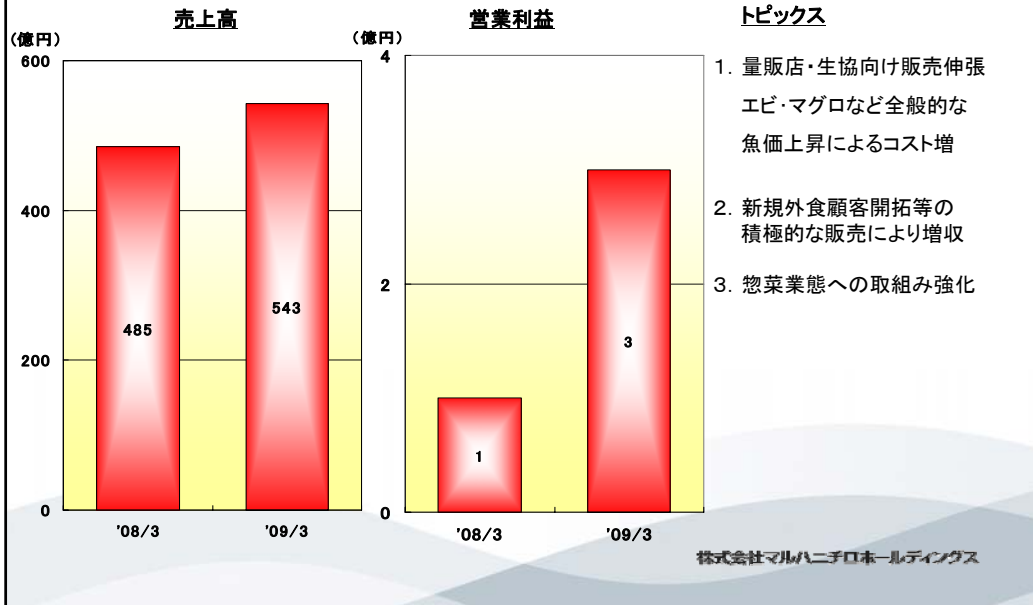
1. 取扱数量(千トン)・単価(円/Kg)

		09/03	08/03	増減
冷凍魚	数量	130	144	△ 14
	単価	853	862	△ 9
鮮魚	数量	174	179	△ 5
	単価	787	812	△ 25
塩干品	数量	102	113	△ 11
	単価	730	711	△ 19
合計	数量	406	435	△ 29
	単価	794	803	△ 9

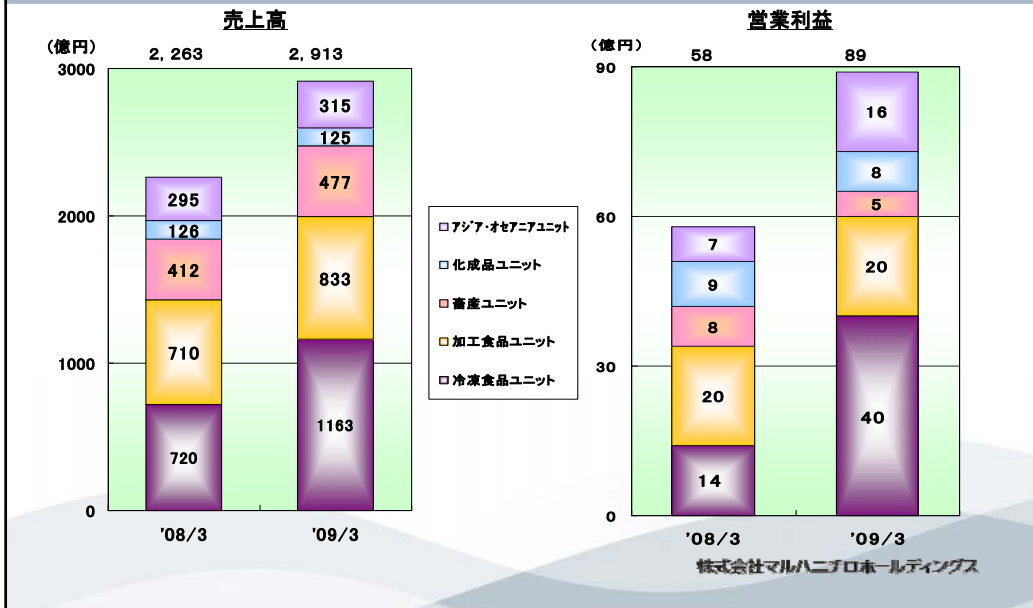
2. 輸入冷凍魚コストアップにより販売不振
3. 冷凍魚・鮮魚の価格低迷
4. 効率化・経費削減努力中

株式会社マルハニチロホールディングス

3-5. 戦略販売ユニット



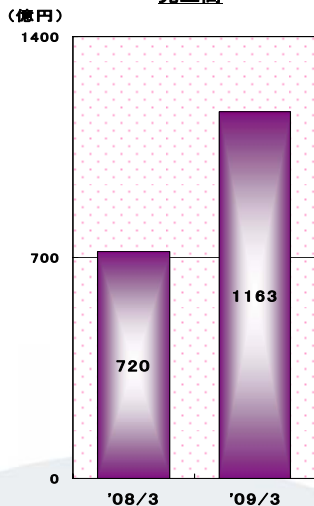
4. 食品セグメント



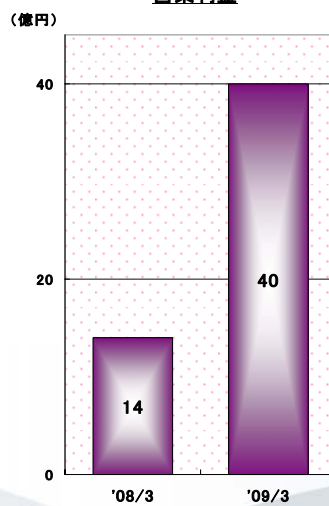
4-1. 冷凍食品ユニット



売上高



営業利益



トピックス

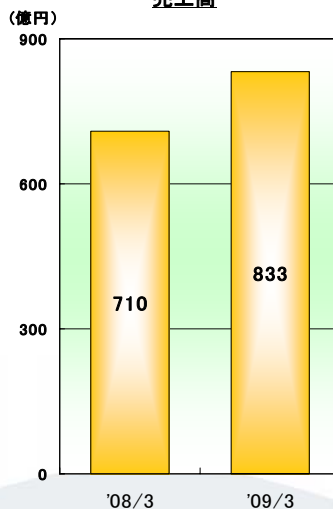
1. 天洋食品、インゲン農業混入事件により冷食市場縮小
⇒国内自社工場品の生産・販売注力
重点商品の集中販売
2. 原料、原材料の高騰は商品価格の実質値上により対応
3. 大江工場
米飯・麺類製造順調

株式会社マルハニチロホールディングス

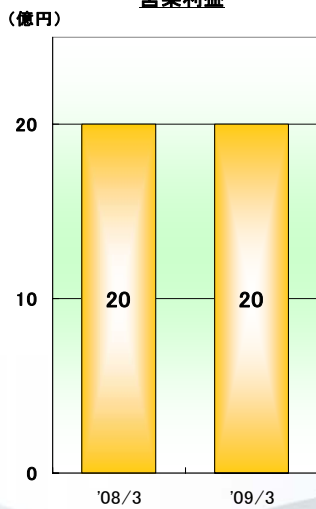
4-2. 加工食品ユニット



売上高



営業利益



トピックス

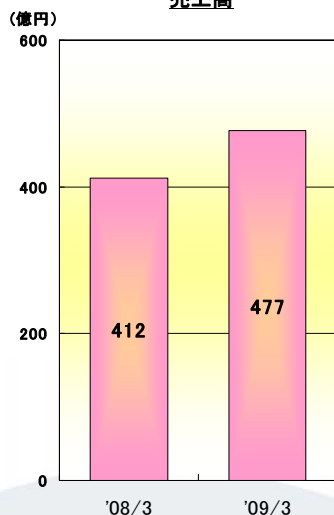
1. カニ・ホタテ缶詰等高級缶詰の消費低迷
2. 缶詰・魚肉ハムソーセージ更なるコストアップで、値上げ実施
3. ゼリーdeゼロ などカップゼリー売上好調
4. アイシア(ペットフード)製品価格の改定の浸透により収支改善

株式会社マルハニチロホールディングス

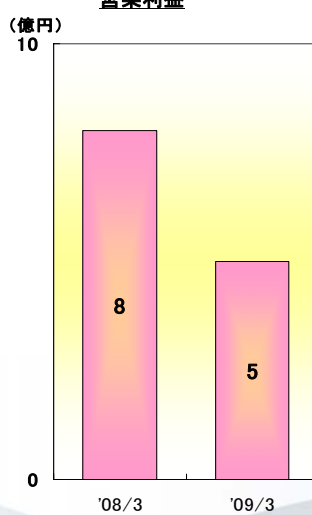
4-3. 畜産ユニット



売上高



営業利益



トピックス

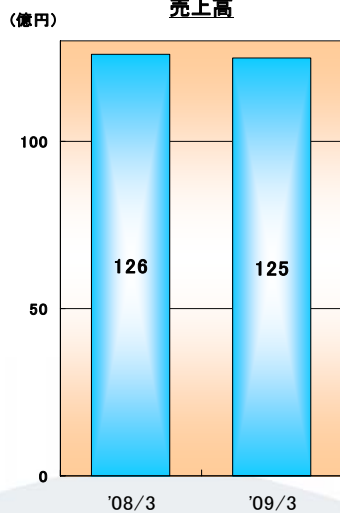
1. 輸入鶏肉の相場下落
2. 牛肉取扱い数量減
3. 海外買い付けフィッシュ・ミールの扱い減

株式会社マルハニチロホールディングス

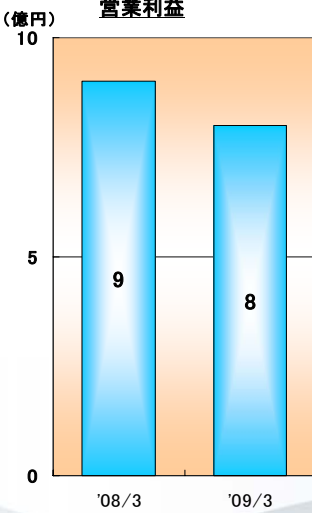
4-4. 化成品ユニット



売上高



営業利益



トピックス

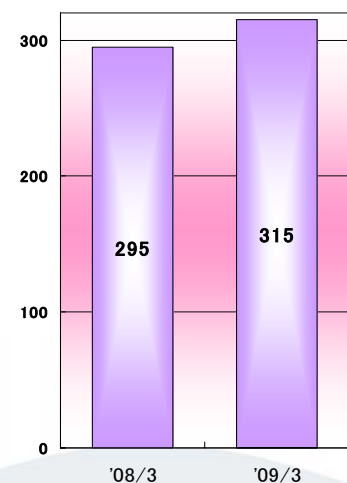
1. 価格競争の激化
2. 調味料のグループ内製強化
3. カップ麺用乾燥具材販売低迷

株式会社マルハニチロホールディングス

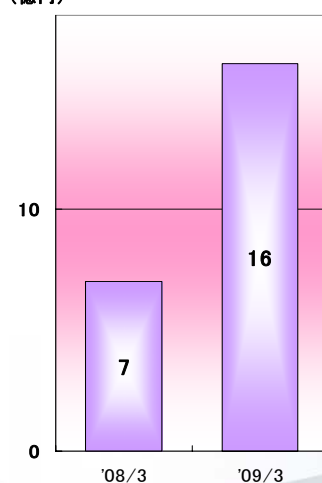
4-5. アジア・オセアニアユニット



(億円) 売上高



(億円) 営業利益



トピックス

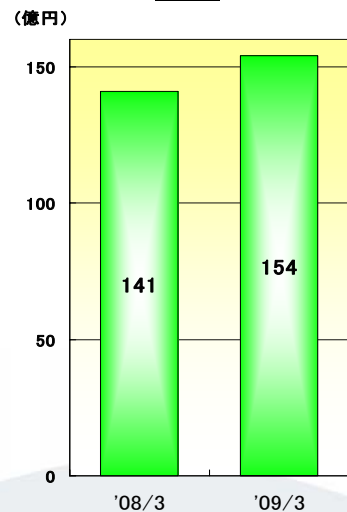
1. タイ新冷凍工場欧米向け受注が増え、稼働率向上
2. 加工原料高騰(ツナ、えび等)による生産コスト上昇も為替相場改善により吸収
3. 欧米顧客向け価格転嫁は浸透。

株式会社マルハニチロホールディングス

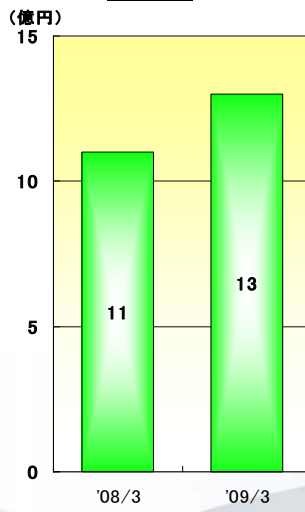
5. 保管・物流セグメント



(億円) 売上高



(億円) 営業利益



トピックス

1. 輸入貨物(特に中国)減少による保管需要の減退
2. 嵩高貨物増加による保管効率悪化
3. 畜肉・加工食品の集荷活動を強化

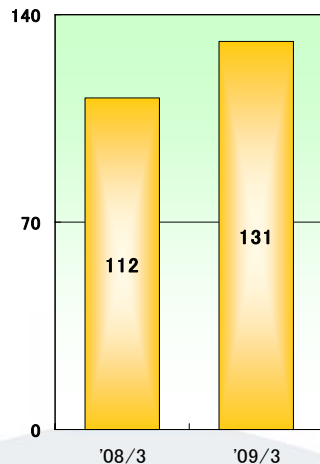
株式会社マルハニチロホールディングス

6. その他事業



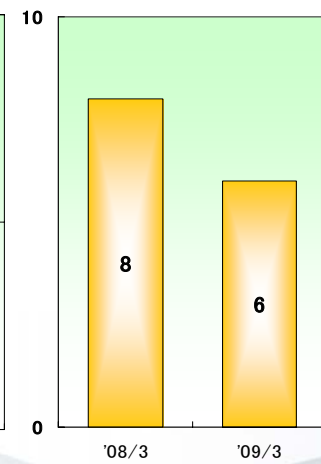
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



トピックス

- 大興製函事業譲渡等による売上高減少 △ 14億円
- 旧ニチロその他事業
 - ・ニチロ工業
 - ・函館国際ホテル
 - ・ニチロ毛皮 など

株式会社マルハニチロホールディングス

7. 設備投資(実績/計画)



09年3月期設備投資実績

ユニット名	金額
漁業養殖	43億円
北米	17億円
水産商事	9億円
その他	6億円
水産セグメント	75億円
冷凍食品	16億円
加工食品	13億円
アジア・オセアニア	9億円
その他	10億円
食品セグメント	48億円
保管物流セグメント	8億円
その他	9億円
合計	140億円

10年3月期設備投資計画

主な計画	金額
海外まき網船建造	19億円
単船まき網船建造	6億円
増養殖設備の増強	10億円
その他	43億円
水産セグメント	78億円
冷凍食品関連	37億円
加工食品関連	14億円
その他	27億円
食品セグメント	78億円
保管物流セグメント	7億円
システム・その他	6億円
合計	169億円

株式会社マルハニチロホールディングス

8. 貸借対照表



(単位:億円)

	09年3月	08年3月	増減		09年3月	08年3月	増減
流動資産	2,668	2,738	△ 70	流動負債	2,759	2,816	△ 57
現預金	225	220	5	仕入債務	354	386	△ 32
売上債権	939	1,030	△ 91	短期借入金	2,045	2,037	8
有価証券	0	46	△ 46	その他	360	393	△ 33
たな卸資産	1,297	1,251	46	固定負債	1,677	1,760	△ 83
短期貸付金	15	20	△ 5	長期借入金	1,291	1,322	△ 31
繰延税金資産	64	48	16	その他	386	438	△ 52
貸倒引当金	△ 21	△ 22	1	負債合計	4,435	4,576	△ 141
その他	149	145	4	資本金	310	310	0
固定資産	2,546	2,769	△ 223	剰余金	423	525	△ 102
有形固定資産	1,493	1,592	△ 99	自己株式	△ 0	△ 13	13
無形固定資産	284	296	△ 12	株主資本	732	822	△ 90
(内 のれん)	202	216	△ 14	評価・換算差額等	△ 93	△ 57	△ 36
投資その他資産	769	881	△ 112	少数株主持分	139	167	△ 28
資産合計	5,215	5,507	△ 292	純資産合計	779	931	△ 152
				負債純資産合計	5,215	5,507	△ 292

株式会社マルハニチロホールディングス

9. 2010年3月期ユニット別計画



単位:億円

	売上高			営業利益		
	10年3月計画	09年3月実績	増減	10年3月計画	09年3月実績	増減
漁業・養殖ユニット	316	301	15	15	2	13
北米ユニット	534	653	△ 119	26	47	△ 21
水産商事ユニット	960	933	28	32	25	7
荷受ユニット	3,367	3,348	19	20	11	9
戦略販売ユニット	513	543	△ 30	4	3	1
水産セグメント計	5,690	5,777	△ 87	97	88	9
冷凍食品ユニット	1,190	1,163	27	49	40	9
加工食品ユニット	855	833	22	36	20	16
畜産ユニット	541	477	64	13	5	8
化成品ユニット	136	125	11	10	8	2
アジア・オセアニアユニット	285	315	△ 30	9	16	△ 7
食品セグメント計	3,007	2,913	94	117	89	28
保管・物流セグメント計	161	154	7	16	13	3
その他セグメント計	142	131	11	11	6	5
全社セグメント計	0	0	0	△ 41	△ 41	0
合計	9,000	8,975	25	200	155	45

株式会社マルハニチロホールディングス

9-1. 水産セグメントの環境／方針、施策



ユニット	環境／方針	施策	営業利益 (前期比)
漁業・養殖	<ul style="list-style-type: none"> 漁業規制・環境規制が厳しくなるなか、国内外の水産資源へのアクセス力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> クロマグロ・カンパチ等付加価値の高い魚の国内外での養殖事業拡大 マダガスカルえび事業の撤退 	15億円 (+13億円)
北米事業	<ul style="list-style-type: none"> ペーリング海助宗鱈の漁獲枠削減、市況の軟化により厳しい事業環境の下、グループとしての最適な操業を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 原料・製品の最適地(日本・米国・欧州)への販売を徹底する 	26億円 (△21億円)
水産商事	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の環境変化に対応し、安定的な調達力の確立 資源アクセス力と販売力を強化 	<ul style="list-style-type: none"> 円高効果等による利益率の改善 鮭鱈の独自ブランド立ち上げ等 	32億円 (+7億円)
荷受	<ul style="list-style-type: none"> 国内消費が低迷する環境の下で、鮮魚事業が不振で市場外との競合も激化 	<ul style="list-style-type: none"> 仲卸との連携強化 出荷元(荷主)との関係強化 事業効率化／荷受再編へ 	20億円 (+9億円)
戦略販売	<ul style="list-style-type: none"> 内食回帰の状況下、より加工度の高い水産製品が求められている 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のグループ企業を有効活用 顧客ニーズに対応した加工体制の強化 	4億円 (+1億円)
水産セグメント合計			97億円 (+9億円)

株式会社マルハニチロホールディングス

9-2. 食品セグメントの環境／方針、施策



ユニット	環境／方針	施策	営業利益 (前期比)
冷凍食品	<ul style="list-style-type: none"> 中国産に対する厳しい環境 自社国内製品の拡販に注力 	<ul style="list-style-type: none"> 自社工場および重点商品への集中 健康・環境配慮型の新商品の積極投入 統合効果(+3億円) 	49億円 (+9億円)
加工食品	<ul style="list-style-type: none"> NB商品の値下げ要求 適正価格の追求とコスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> 新容器、健康関連商品の販売強化 統合効果(+14億円) 	36億円 (+16億円)
畜産	<ul style="list-style-type: none"> 食肉市況停滞 飼料相場は堅調 	<ul style="list-style-type: none"> 輸入鶏肉の在庫圧縮による収支改善 畜肉加工品・チルド商材の強化 飼料事業における新規取扱拡大 	13億円 (+8億円)
化成品	<ul style="list-style-type: none"> 価格競争(値下げ競争) 健康をテーマとした製品の拡販 	<ul style="list-style-type: none"> 生産拠点の効率稼働 調味料・乾燥食品のグループ内製法 海外販売の強化 	10億円 (+2億円)
アジア・オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> 欧米市場の需要低下 価格の値下げ要求 	<ul style="list-style-type: none"> トレーサビリティ強化等の欧米市場対応強化 生産効率の向上 	9億円 (△7億円)
食品セグメント合計			117億円 (+28億円)

株式会社マルハニチロホールディングス

9-3. 2010年3月期業績予想



	10年3月期計画 (億円)		前年比 (%)
	中間期	通期	
売上高	4,400	9,000	100%
営業利益	80	200	129%
経常利益	60	150	186%
当期純利益	17	40	-

株式会社マルハニチロホールディングス



世界に美味しいしあわせを

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハニチロホールディングスに属します

MARUHA NICHIRO

株式会社マルハニチロホールディングス

世界に美味しいしあわせを



MARUHA NICHIRO

